

第2期子育て未来応援プラン「あしや」の中間見直しについて（第5章地域子ども・子育て支援事業の量の見込みと確保方策）

ニーズがあるだけサービスを提供する（受皿を確保する）という前提の計画であるため、令和3年度実績が目標を上回っており、乖離が大きい事業については、令和3年度実績の数値を参考に、目標の上方修正の見直しを行います。なお、令和3年度実績が目標を下回っており、乖離が大きい事業については、平成30年度に実施したアンケート調査において把握された目標を下方修正することになり、市のサービス目標を低下させることに繋がるおそれがあるため、見直しを実施しません。

見直し対象の事業は、下記表の見直しの有無に○が記載された事業になります。また、見直し後の目標の数値は別添のとおりです。

No.	事業名	担当課	指標	令和3年度 目標	比較	令和3年度 実際の ニーズ量	令和3年度 実績	見直しの 有無	現状を踏まえた市の考え方
1	時間外保育事業 (延長保育事業)	ほいく課	利用人数	501人	<	509人	509人		目標の見直しは行わない。
2	放課後児童健全育成事業	青少年育成課	利用 人数	低	<	620人	620人		低学年においては、目標と実績との間に大きな乖離が見られないことと、低学年の申込み者数の増加傾向がピークを過ぎつつあることから、見直しを行わない。
				高	<	132人	132人	○	高学年においては、目標と実績との間に大きな乖離があることと、高学年については申込み者数の増加傾向が続いていることから、目標の上方修正を行う。
3	子育て短期支援事業 (子育て家庭ショートステイ事業)	子ども家庭総合支援課	実施か所数	12か所	=	—	12か所		目標の見直しは行わない。 【令和3年度】 量の見込み23日／実績6日（年間）
4	地域子育て支援拠点事業 (つどいの広場事業)	子ども家庭総合支援課	実施か所数	4か所	<	—	5か所		目標の見直しは行わない。 【令和3年度】 量の見込み5,394人／実績1,282人（月間）
5-1	幼稚園における一時預かり 事業	管理課 子育て政策課 ほいく課	利用 人数	3歳	>	7,898人	7,898人		目標の下方修正はせず、現行のまま据え置く。
				4、5歳	>	27,838人	27,838人		目標の下方修正はせず、現行のまま据え置く。
5-2	保育所・ファミリー・サ ポート・センター等におけ る一時預かり事業	ほいく課 子ども家庭総合支援課	利用 人数	保	>	1,691人	1,691人		目標の下方修正はせず、現行のまま据え置く。
				ファ	<	3,245人	3,245人		目標と実績の間に大きな乖離がみられないことと、出生数の大幅な減少、保育所・認定こども園の入所ニーズの上昇があることから、見直しを行わない。
				合計		4,936人	4,936人		

第2期子育て未来応援プラン「あしや」の中間見直しについて（第5章地域子ども・子育て支援事業の量の見込みと確保方策）

ニーズがあるだけサービスを提供する（受皿を確保する）という前提の計画であるため、令和3年度実績が目標を上回っており、乖離が大きい事業については、令和3年度実績の数値を参考に、目標の上方修正の見直しを行います。なお、令和3年度実績が目標を下回っており、乖離が大きい事業については、平成30年度に実施したアンケート調査において把握された目標を下方修正することになり、市のサービス目標を低下させることに繋がるおそれがあるため、見直しを実施しません。

見直し対象の事業は、下記表の見直しの有無に○が記載された事業になります。また、見直し後の目標の数値は別添のとおりです。

No.	事業名	担当課	指標	令和3年度 目標	比較	令和3年度 実際の ニーズ量	令和3年度 実績	見直しの 有無	現状を踏まえた市の考え方
6	病児保育事業 (病児・病後児保育事業)	ほいく課	実施か所数	2か所	=	—	2か所		目標の見直しは行わない。 【令和3年度】 量の見込み569人／実績474人（年間）
7	子育て援助活動支援事業 (小学生)	子ども家庭総合支援課	利用人数	3,447人	>	1,718人	1,718人		目標の下方修正はせず、現行のまま据え置く。
8	利用者支援事業	ほいく課	実施 か 所 数	特定 型	1か所	=	—	1か所	目標の見直しは行わない。
		健康課		保 母 子 健 型	1か所	=		1か所	目標の見直しは行わない。
9	妊婦健康診査 (妊婦健康診査費助成事 業)	健康課	利用人数	1,079人	>	883人	883人		目標の下方修正はせず、現行のまま据え置く。
10	乳児家庭全戸訪問事業	健康課	訪問件数	632件	>	426件	426件		目標の下方修正はせず、現行のまま据え置く。
11	養育支援訪問事業等 (育児支援家庭訪問事業)	子ども家庭総合支援課	利用回数	6回	<	81回	81回	○	コロナ禍による環境の変化が家庭への大きなストレスを生み、支援を必要とする家庭が増加したことに伴い、目標の上方修正を行う。

※計画の目標は、平成30年度に実施したアンケート調査を基にしていることから、サービスを利用してみたいといった潜在的なニーズを含んでいます。令和3年度実績の数値は、申込みやサービスを利用する等の顕在化したニーズであり、潜在的なニーズは含まれていません。